



## *Nebbiolo Prima @ Piemonte*

# バローロ、バルバレスコ、 ロエーロ最新ヴィンテージを見る ネッビオーロ・プリマ

5月16日から20日の5日間にわたり、アルベイザ（アルパワイン生産者組合）が主催する、バローロ、バルバレスコ、ロエーロの3つの産地の最新ヴィンテージの試飲会「ネッビオーロ・プリマ」が開催された。イタリア、アメリカ、オーストラリア、スウェーデン、ポーランド、イスラエル、台湾、韓国、日本などから62名のジャーナリストが参加した。

アルベイザとは、18世紀初期にアルパで製造されていたアルパ独特のワインボトルの形のこと。故レナート・ラッティがアルベイザ・ボトルを復活させ、地域の独自性をアピールしようと、16人の生産者とともアルパワイン生産者組合を立ち上げた。今では220人が加盟し、ランゲとロエーロのワイン産地のプロモーションに務める。

「ネッビオーロ・プリマ」の前身は、1996年から続いてきた「アルパ・ワインズ・エキシビション」で、改名の理由をアルベイザの代表エンツォ・プレッツァは、「イベントのリニューアルを伝えるため、そして英語から母国語に戻したことで真の名称にたどり着いたと確信している。内容のさらなる充実も図った。参加生産者が増えたことは重要だ」と話した。前年に比べ35軒増の、187ワイナリーが出展した。

一日のプログラムは、午前中に80種前後のブラインド・テイスティング、1時間のランチを挟み、午後はワイナリー訪問、夕方は生産者がブースに立つフリー・テイスティング、夜はピエモンテのトップ・リストランテで生産者同席のディナーで締めくくる、これを毎日繰り返した。

ブラインド・テイスティングに供されたワインは合計325種で、ロエーロ2007、ロエーロ・リゼルヴァ2006、バルバレスコ2007、バルバレスコ・リゼルヴァ2005、バローロ2006、バローロ・リゼルヴァ2004。

### ●エルヴィオ・コーニョ

長年、ラ・モツラ村のマルカリーニの醸造長を務めていたエルヴィオ・コーニョが1990年にノヴェットロ村にセラーを購入し、ワイン造りを始めた。2002年にセラーを改築、現在は、エルヴィオにワイン造りを仕込まれた娘婿のヴァルター・フィッソーレを中心に運営する。セラーはとても



エルヴィオ・コーニョのヴァルター・フィッソーレ氏。スリムなステンレスタンクでスペースを有効活用。

清潔で、縦長長方形の50hℓのステンレスタンクを使い発酵、スラヴォニアン、オーストリアンオークの30hℓの大樽で熟成。今は一部、フレンチオークのバリックも使っているが、将来的にはすべて大樽に移行するとのこと。パローロ・ヴィーニャ・エレナ1999を試飲。1991年にネッビオーロ・ロゼを植樹した畑。「ロゼは、ブルゴーニュ的な特徴を与えてくれる。とてもフェミニンなワインになる」と言う。シガー、きのこなど複雑な香りと繊細なタンニンをもち、余韻にはうまみが続いた。